

## 魂魄妖夢 (第22回大会をもって引退) 第35回にて復帰

能力：『剣術を扱う程度の能力』

所属：白玉楼(旗揚げ戦～第22回大会)

無所属(第32回大会～第34回大会)

白玉楼見習い(第35回大会(終了後)～)

### ファイト・スタイル

### 報われない武術家

研ぎ澄まされた刀のイメージを持った打撃と関節技を中心に組み立てる格闘技型に、  
カッターやフェイスバスター系の投げを織り交ぜていくスタイル。一見スマートでありながら、  
その打撃のほとんどが首切り狙いであるなど容赦のなさをも持っていた。  
が、追い詰められるとリング下から竹刀やハンマーを持ち出し冷静になってから後悔するという一面もある。  
引退前は自力で勝負を決した事がなかったため、何をフィニッシュホールドにしていたかは不明のままである。

### 白玉カッター（しらたまカッター）

カナディアンバックブリーカーの要領で相手の背中を肩に乗せて担ぎ上げ、  
相手の顔から横に捻りつつ自分のサイドへ叩き付ける。  
投げ系では愛用していた技だが、フィニッシュとしての説得力を出すことが出来なかった。  
元ネタは横須賀亨の使う横須賀カッター。

### 白玉スラム（しらたまスラム）

裏投げの要領で正面から組み付いたあと、下半身のバネを使って相手の体を跳ね上げ、  
相手を落とす途中で喉輪の体勢に切り替えつつ背中から叩き付ける。五番勝負の中盤から使い始めた。  
早苗ボトムに喉輪を足したような技で、幽々子のチョークスラムを自分なりにアレンジしたといったところか。  
オリジナルはブッカーTのブックエンドと思われる。

### フェイスバスター

パイルドライバーの体勢から、ジャンプし前方に倒れ込んで相手の顔面をマットに叩き付ける。

### 未来永劫斬

ダウンしている相手をマットに座らせた状態で、横から走り込んで側頭部を蹴り飛ばすキック。  
或いは片膝をつかせた相手に対して、気合を込めて繰り出す側頭部への中段回し蹴り。  
興行初期から愛用するキックだが、これも勝利には結び付けられなかった。  
しかし、何とかの一念というべきか、ついに第38回大会でこの技にてフィニッシュを決め、  
ファンを歓喜させた。  
元ネタはTAJIRIのバズソーキック。あるいはK-ness.の介錯。  
技名は、東方永夜抄他で使用したラストスペル『人鬼「未来永劫斬」』より。

## 一念無量劫

相手の片腕を掴んだ状態で、首筋に手刀を数発打ち込んだ上で、大きく体を反転させてさらに一撃を打ち込む技。この「袈裟切りチョップ連打 ローリング式」という一連の流れは、小橋建太がオリジナル。ちなみに「ローリング袈裟切りチョップ」は橋本真也が「つばめ返し」として、おもにカウンターで使用。これは剣豪・佐々木小次郎の同名の技が由来で、剣士つながりで妖夢が使用……しているかどうかは不明。技名は、[東方妖々夢](#)で使用した[スベルカード](#)『六道剣「一念無量劫」』より。

## 前転式飛びつき腕十字固め

下を向いている状態の相手の片腕と首を掴み、相手の肩を飛び越えるように回転しながら腕を巻き込み、相手の体を裏返してグラウンドでの腕ひしぎ逆十字固めに移行する。オリジナルは稔のミノルスペシャル。なお、[永琳](#)の「えーりんスペシャル」こと「壺中の大銀河」とは異なる（あちらのオリジナルはミノルスペシャル2である）

## 楼観剣&白楼剣

当然、本物の方ではなく、ここでは妖夢の使う凶器のこと。リング下から取り出すバンプスティック（つまり竹刀）が楼観剣、懐に忍ばせているフォークが白楼剣と呼ばれている。当然ながら反則攻撃なので、妖夢が理性的な間は使用されないが、試合の中で熱くなり、我を忘れると登場する。復帰後は、以前のように我を忘れてということもなく、場外乱闘での使用に留めるというクレバーな使い方を見せた。なお、[M.D](#)が使う凶器攻撃も楼観剣とか白楼剣とか呼ばれたが、**妖夢とはまったく関係無い**ので注意されたし。

## 原型STO（仮）

「足を刈る」という要素よりも「腕極め」「浴びせ倒し」の要素が強いSTO（大外刈り）。オリジナルは小川直也が橋本真也との激闘で見せた技。

## ねぎま投げ

復帰後、新生[白玉楼](#)での同僚である[ミスティア](#)との合体技。[八雲一家の紫](#)と[藍](#)が見せる八雲家秘伝の合体技『殺しNo.3』と同型であり、復帰を祝って紫から伝授されたのかもしれない。なお、ネーミングは[ミスティア](#)ごと投げるさまが、鶏肉とネギを交互に串に刺した焼き鳥のねぎまを彷彿とさせるところから。「緑の妖夢と茶色のみすちー、ねぎま投げだ！」（[文](#)のアナウンスより）

## その他使用技

モンゴリアンチョップ、高角度前方回転エビ固め、ラ・マヒストラルなど。

## 戦績

[部分編集]

+ 全戦績（～第22回興行）-ネタバレを含むので注意-

[部分編集]

+ 全戦績（第35回興行～）-ネタバレを含むので注意-

## タイトル歴

なし

## 人間関係

### ▶ [幽々子](#)

([白玉楼](#)時代の主人。引退の際、長年の主従関係も崩壊。[SEVENS](#)シリーズを経て、自身の行いを恥じ、[白玉楼](#)見習いとして戻った)

### ▶ [ミスティア](#)

(妖夢に引導を渡したばかりか何故か後釜に据わった。本人は復讐を望んでいたようだが、再合流以降は何とか巧くやっている)

### ▶ [橙](#)

(主人ぐるみで付き合いがありタッグを組んだ事もある。一時半絶縁状態だったが、GM軍の罠に嵌められた彼女を助けたのは妖夢だった)

### ▶ [M.D](#)

(関連性は不明だったが、[幽々子](#)とのマスク剥ぎを賭けた試合に負け、結局本人と発覚と思われたが、ODSが妖夢をコスチュームを借りただけの偽者と主張、妖夢も関係を否定している)

## 入場曲

### 広有射怪鳥事 ～Till when?

ちなみに、「ひろありけちょうをいること」と読む。広有は人名（隠岐次郎左衛門広有という人）。

## 評

[部分編集]

## 栄光の陰でひっそりと消えた徒花 旗揚げ～第22回大会

東プロ旗揚げ当初からの参加組。にして不遇の星。

当人の努力は誰もが知る所ではあったものの、残念ながら結果に結びつかず後に設定される『U3級』相当ではないか、と言われながらも当人の意思で『無差別級』に所属。

シングル・タッグ・ユニットどのカードにおいても目立つ活躍をみせられず、特に体格が上とはいえデビュー2戦目の神奈子にシングル戦で敗れてからは「未熟者」のイメージがすっかり定着してしまう。

挙句、白玉楼主人である幽々子とタッグを組んでの幻想郷商工会提供試合でも無様にピンを取られてしまい、

そのことに激昂した(妖夢が無様にピンをとられたことより、その試合の副賞だった数々の食料品を

もらい損ねたことの方が原因とも)幽々子から追放寸前の宣告を受けるものの、幽々子の友人である紫のとりなしと

マッチメイクにより魂魄妖夢の斬撃五番勝負!による試練を与えられた。

しかしこの五番勝負においても、最初の2戦でこそ、超格上元LSW王者霊夢や幻想郷最強クラス幽香に

ぶつけられ、苦い敗北を喫しつつもそれを乗り越えての成長を予感させていたのだが、

第3戦では新人メディスンのデビュー試合で相手に初白星を献上、第4戦では同期にして似た境遇の

鈴仙との対決にも破れ、もはやマッチメイカーの紫をもってしても「スランプ救済企画みたい」と

苦言を漏らしてしまう有様に。

最終第5戦に至っては、U3級のミスティアにすら敗れてしまい、ついに五番勝負を全敗で終えてしまった。

『一勝もできなかつたら切腹する』という前言の重みに救済措置として紫、幽々子から切腹の撤回と追加試合の提案を受けたが、これを潔しとしなかった妖夢選手は引退を宣言、ついに自らの勝ち星を挙げられぬまま、東プロマットを去る事になった。

なお、この際彼女自身は、引退を宣言しつつも、幽々子に引き留められることを期待していたふしがあったが、

幽々子はその甘さを見透かしていたかのように、あっさりと決別の言葉を口にしている。

さらに五番勝負第5戦勝者のミスティアを幽々子が白玉楼に引き入れてしまった為

自身の居場所を失ったと感じたのか、白玉楼の庭師業務はおろか楼内に一点の形跡も残さず、

行方不明となった。

本部長は気の毒と感じていたのか、妖夢の失踪後も契約解除はせず登録保留としていた。

しかしそれは彼女にとって優しさになるのか、嫌味になるのか、知る者は本人しかいない。

はぐれ者として電撃復帰（笑）第32回大会

魂魄妖夢、推参! 第34回大会

復活！魂魄妖夢 第35回大会～

妖夢の階級問題

## 東方プロレス ファンBBS

(現行スレ)

Part3 [【魂魄】楼観剣 総合スレ 三振り目【妖夢】](#)

(過去スレ/過去ログ化済)

Part1 [【魂魄】未熟物総合スレ 一振り目【妖夢】](#)

Part2 [【魂魄】用務員総合スレ 二振り目【妖夢】](#)

[このページを編集](#)